

重点教育目標【自分で考え、正しく判断し、行動できる子】～平成31年4月1日制定～



山崎小だより

八雲町立山崎小学校

令和3年3月18日発行

今年度の合言葉『飛翔 三刀流（生活・学習・運動）免許皆伝』 【最終号】

皆様の「素晴らしい未来」にエールを！！

八雲町立山崎小学校長 澁谷 克巳

平成4年に現在の校舎が新築されてから約30年。今年のように校舎が埋もれるほど雪が降ったのは、初めてだそうです。半月前は雪の壁の中を子供たちが通学していたのが夢のように、春は駆け足で訪れました。今日、最後の卒業生が山崎小学校を巣立ち、学び舎に児童はいなくなりました。

2月25日に行った本校最後の学習参観日で、2人は、この1年間でできるようになった学習の成果を発表しました。学習面では、リコーダー演奏。英会話の自己紹介。行ってみたい国をスライドで紹介。怖い話の朗読。運動面では、縄跳びの技を披露。そして、バドミントン対決。保護者の皆様には、子供たちの成長をしっかりとみとっていただけたことと確信しております。

北海道で1番小さな学校としてスタートしてから2年間。2人で力を合わせて、元気に学校生活を送ってきました。今年度は欠席が1～2日と、子供たちはほとんど学校を休むことがありませんでした。夏休み中に開催した運動会。おそらく、全国で一番最初に行ったのではないのでしょうか。学芸会は、本校職員全員とALTのケリヤ先生まで出演しました。子供たちは、半年間勉強したことをスライドにまとめてしっかりと発表できました。そして、閉校式。学校の歴史を振り返る2人の姿は、会場の皆様の心に響き、たくさんのお話を思い出させてくれました。本日の卒業式で、私は、卒業生に『夢を見つけましょう。』と次のように語りました。『自分で、見たり、聞いたり、体験したりして、感じる中から見つけ出した夢を自分のものにしましょう。そのために、努力して、我慢して。勉強して、体力をつけて。そして、なによりも普段の生活の中で『自分から』を心掛けましょう。私たちの生活は、うまくいくときもあれば、努力が評価されないとき、思うように結果が出ないときもあります。むしろ、自分の思い通り、計画通りに物事が進むことは少ないです。しかし、恐れることはありません。夢をかなえるための一番の近道。それは、まず、一歩踏み出すことです。新しい学校でも勉強、スポーツの二刀流に加えて、毎日の生活の中で、自分ができる最善のことに取り組む。一歩踏み出すと、一歩、夢に近づきます。この一年間の自分たちの成長に自信をもって、三刀流で頑張っしてほしいと願っています。』

結びになりますが、山崎小学校は3月31日をもって115年の歴史に幕を閉じます。これからは、山崎の地で運動会や資源回収、もちつき大会の応援に駆け付けることはありません。しかし、山崎小学校とともに過ごした私たち一人一人の心の中には、深く、強く、それぞれのふるさととして『山崎小学校』は息づいていきます。これまで、山崎小学校に溢れるばかりの愛情とお力添えを賜った皆様に衷心より感謝申し上げますとともに、皆様の御健康と御発展を御祈念申し上げます。

皆様の「素晴らしい未来」にエールを贈り、最後の学校通信の巻頭言といたします。

～～新体力テストの結果について～～

新体力テストは、6月と9月に実施しました。

2名中1名が、8種目中6種目全国平均を上回っています。平均では、4種目全国平均を上回っていました。（全道平均は、6種目上回っています。）朝の持久走に取り組み、課題であったシャトルラン最低35回をクリアするとともに、秋のマラソン大会では、2人とも昨年度の記録を1分縮めることができました。なわとびも、それぞれ上達して、後ろ回しで二重跳びやはやぶさ跳びをできるようになりました。全体的な体力はついてきているので、これからは握力や上体起こしなどの体を支える力をつけるように頑張っしてほしいと願っています。